

山行報告書

山行管理部

公開山行 大文字山 465m 11月26日(日)

CL 島田 SL 川井 豊村 参加者 29名 (内一般 2名)

JR 山科駅改札口 9時30分集合

晴天に恵まれ、2班に分かれて、いざ出発。毘沙門堂は混雑が予想されるため途中の広場で準備体操。紅葉狩りの一般客をしり目に後山階陵遺跡(ごさんかいりょういせき)登山口から谷沿いに進む。数年前の台風の風道の影響か直径5、60センチもあろうかと思われる倒木が200メートルも続いたろうか全体のスピードが落ちる。戦後の植林によるものらしく、かなり大きい。今日の参加者とほぼ同世代ではないかと思いながら登っていく。11時30分鞍部に出て右直角に登ること30分。頂上に到着。西側には京都市の南部が眼下に見える。ここで昼食。大きな丸太のベンチが数十分。下見の時の団体の登山者はなく十分座れた。休憩のあと20分ほど下り、火床の手前で集まり、各部から山行予定を発表。火床からの景色は素晴らしく、すぐ北側に比叡山、眼下に京都市街がすっぽり、はるか西には愛宕山が確認できた。撮影タイムの後、石段を直下降、林の中をさらに進み、善気山(271m)、月待山を経て14時30分、麓の八神社に到着。ここで29名全員無事に下山、解散した。(豊村 記)

サロン 高山右近ゆかりの高槻町歩きと忘年会 12月2日

CL 阪上 SL 島田 参加者 17名 忘年会参加 16名

阪急高槻駅からガイドの説明を聞きながら高槻城公園へ、しろあと歴史館では戦国時代から江戸時代にかけて、高槻の歴史を資料や模型などで紹介されていました。

歴史民俗資料館では、昔の生活用具、農具などの民俗文化財を保存、展示していて懐かしい生活用具もありました。高槻城公園から北へ、JT生命誌研究館では生物や植物の起源や進化の過程についての展示がありました。難しい内容もあって時間があれば詳しい説明を聞きたかった。13時から「がんこ」で忘年会、皆で楽しく盛り上がりました。(島田 記)



ウィークデイ 御破裂山・談山 12月6日 C.L木村(佐) S.L島袋 参加 11名
桜井駅(バス)9:45 — 10:10 多武峰バス停出発 10:20 ~10:40 談山神社 ~11:20 談山
~ 11:40 御破裂山(昼食) 12:10 ~ 13:10 万葉展望台 13:40 ~14:30 石舞台
(解散)

バスは談山神社行きで一時間に一本で、満員の乗客でした。多武峰で降りて歩き、談山神社に入り本堂と十三重の塔の美しい姿を見る。空は青く、もみじは散り始めていたがまだ残っていて目で楽しみ写真を撮りました。神社の裏から談山に登り此処は中大兄皇子と鎌足公が談合を行った所で思いを馳せました。御破裂山と標識のある墓は鎌足公の墓所であり、御破裂山の三角点は別の場所にあり分かりにくい所でした。万葉展望台からは飛鳥の里を一望でき、遠くは金剛、葛城、二上山が見えて眺望が良く楽しい山行でした。(島袋 記)

三角点は四等三角点で下見の時は気がつかず、メンバーの一人が気づいて踏むことが出来ました。反省点として談山神社の入山料は他の入山者もいて時間がかかり、11人分まとめておけばよかった。(木村(佐)記)

自然保護部 忠臣蔵の故郷 坂越浦から赤穂へ 12月6日

CL 寺田 SL 松本(正) 石野(博) 杉谷 参加者 15名
大阪駅 8時発の新快速播州赤穂行に乗車、9時38分坂越駅着。
天候は快晴で気温も高く行楽日和で観光客が多い。
松本さんの案内で坂越まち並み会館から奥藤酒造郷土館、旧坂越浦会所を訪ねる。

落ち着いた街並みで、道路も石畳に舗装され歩きやすい。坂越浦を前を見て大避神社へ。644年蘇我入鹿から逃れた秦河勝が祭神とされる。立派な神社だ。

昼食後神姫バスで赤穂城へ向かう。ここも松本さんの案内で大手門、大石長屋門、大石神社、本丸庭園、花岳寺を見学して赤穂駅に向かう。城の石垣が立派で本丸跡も往時をしのぶよすがとなっており感慨深い。

12月14日は吉良邸討ち入りの日で多くの観光客が押し寄せることだろう。赤穂の市街は歩くのは初めてだったが、落ち着いたいい感じのところだった。赤穂駅16時6分の新快速草津行きに乗車、17時43分大阪着。その後解散。楽しい一日だった。 (寺田 記)



土曜山行 岩湧山 12月9日(土) CL安田 SL新熊、足立 参加者14名
河内長野 9:04 発南海バス=滝尻 9:40 着 9:50→権現山 10:50→サルの前栽 11:05→滝畑山 11:30→梨ノ木山 12:00→コヤブ山 12:20→ダイトレ75 鉄塔 13:35→岩湧山 13:55 (休憩15分) 14:10→滝畑ダム 15:35 16:19 発南海バス=河内長野 17:10 着

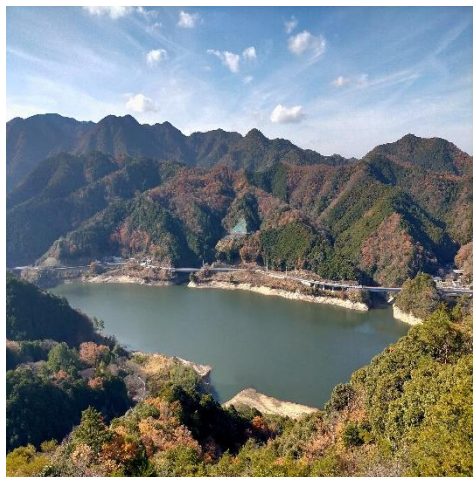
2021年コロナの為に実施出来なかったYAMAPルートに無い権現滝からの急登やロープの張ってある岩場のあるワイルドなコースです。心配していた一つ目の難所の権現山迄は何とか全員クリアできました。サルの前栽ではお天気が良かったので滝畑ダム

や 360 度の眺望を楽しみ小休止をしました。

その後アップダウンを繰り返しながら梨の木山に到着しましたが、徐々に予定のコースタイムを過ぎていたので、コヤブ山からダイトレ 75 鉄塔迄の急登の事を考えると鉄塔迄行けても帰りのバスの時間も危ぶまれ、最後のエスケープルートのある梨の木峠で二班に別れて行動することにしました。

残った 8 名の頑張りでゆっくりは出来なかったのですが山頂の景色を楽しみ、良く整備されたダイトレで無事下山しました。

(新熊 記)



別れた後について

担当者（安田）と、5 名が梨の木峠から、滝畑ダムのダム湖への道を下山した。よく踏まれた穏やかな道で、12 時に下山を開始し、林道を経て、夕月橋バス停に 12:30 に到着。バス停付近で、昼食をとった。途中下山した方々も、前半のコースがバリエーションに富んでいて、十分満足した、との感想を述べられていた。予定より早いバスに乗り、河内長野駅で解散した。

(安田 記)